

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ひかり奈井江（放課後等デイサービス）		公表日		2025年3月31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	・限られたスペースの中で工夫して広く活動が出来る様に配慮している。 ・身体を動かす活動等は、公共施設を利用したり屋外での活動を取り入れることで大人数でも楽しく活動する機会を設けています。	・その日の利用人数によっては手狭に感じる。 ・利用人数が多いときには、2階のスペースも活用し対応しています。 ・引き続き、安心・安全な環境作りを心掛けていきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	・活動内容や遠方への送迎対応、利用時への対応等で人数調整を行っています。	・子ども達の状況によっては足りないと感じる事もある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		5	・子ども達が不便さを感じている様子はないが、バリアフリー化はされていない。 ・在籍しているお子様の状況に合わせて環境整備を行っています。	・引き続き、視覚からもわかりやすく子ども達が過ごしやすい環境となるように配慮していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	・毎日、清掃を行っています。 ・子ども達が使用する玩具等もこまめに消毒し破損等がないか確認を行っています。	・引き続き、子ども達が安心して遊ぶ事が出来るように配慮していきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	・気持ちも切り替えなど静かな場所でも過ごす必要がある場合など、必要に応じて2階のスペースを使用し対応しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・朝の打ち合わせや毎月の会議等を利用し話し合い・振り返りを行っています。	・日々の会話の中でも気づいたことは話をし業務改善に努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・毎年アンケートを実施しています。 ・随時、保護者様からのご意見等をお聞きしています。	・年1回、アンケートを配布し保護者様からご意見を頂いております。 ・アンケートのご意見を参考によりよい支援へ繋げていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・会議等で話し合いを行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	・第三者による外部評価は行っておりません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・外部研修等の機会があれば積極的に参加しています。 ・内部研修も行い、支援の質を高めるよう努めています。 ・防災・防犯委員会、感染・衛生委員会虐待防止委員会等、話し合う機会を設けています。	・外部、内部研修に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・現在、作成し整えています。	・整い次第公表させていただきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・計画更新時に面談を行い、保護者様利用者様のニーズや課題を確認しています。 ・職員間でもニーズや課題の確認を分析し計画に反映させています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・職員間での共通理解を図るため、毎月支援会議を行い、情報の共有を図っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・計画書は職員全体で共有し、いつでも確認する事が出来るようにしています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・共通のアセスメントツールを使用しています。 ・適宜、保護者様と面談を行いニーズの把握や再確認等、行動観察を行い個別支援計画を作成しています。	・全事業所で共通のアセスメントツールを使用しています。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」に沿った支援内容を踏まえて個別支援計画に反映・設定しています。	・お子様の特性や発達状況を踏まえ、5領域に関する具体的な内容を設定していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・日々の流れや利用時の特性なども考慮しながら、会議で話し合いをしています。	・活動のねらいや利用時への関わり方などを確認しながら、様々な視点から考えるように努めています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・様々な活動の内容を設定しています。また、内容は発達や特性に応じて変化させています。何度も繰り返し経験し獲得できる内容のものは、継続して活動プログラムに組み込んでいます。	・お子様の発達や特性などを踏まえ、色々な体験が出来るようプログラムの立案に努めています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・お子様の発達や特性に応じて、個別活動・集団活動を取り入れています。	・個別でのニーズと集団でのニーズを踏まえた個別支援計画の作成と支援に努めていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・朝の打ち合わせの際に、その日の流れや役割分担、支援方法等の確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・その日の支援終了後、もしくは翌日の朝の打ち合わせの際に振り返りや反省等を行い共有しています。また、普段の会話からも気づいたことはその都度、話し合い情報の共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・日々の支援について担当ごとに支援記録の入力を行っています。また、担当以外でも気づいたことは記録に記載し情報共有を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・定期的にモニタリングを行い、会議等で支援内容の見直しの必要性などを検討しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・管理者、児童発達支援管理責任者担当職員が出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・小学校、中学校、養護学校、療育センター・通園センター等関係機関と情報共有を行い連携を図っています。	・関係機関との連携と事業内での情報の共有が円滑に行えるように努めていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・学校訪問や電話等で確認をしています。また、保護者様を通して情報を頂く事もあります。	・こまめに連絡を取りながら、よりよい関係性作りに努め連携を図って行きたいと思えます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		・認定こども園や通園センター等へ訪問、もしくは電話等でお子様の様子や状況確認を行い情報の共有をしています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		・必要時にサービス担当者会議等にも参加し情報共有を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		・療育センター等で発達検査や知能検査を受けた場合、その報告書を保護者様の同意のもと職員間で共有しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	・児童クラブや児童館との交流の機会は設けていません。 ・近隣の公園や公共施設へ行き、地域のお子様と関わる機会を設けています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		・管理者、児童発達支援管理責任者が参加しています。	・他の職員も積極的に参加する機会を作って行きたいと思えます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・日々の送迎の際にお子様の状況や課題について話をする機会を設けたり、必要に応じて面談する時間も設けています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5	・今年度はペアレント・トレーニングの実施はありませんでした。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約時に説明させて頂いております。また、不明な点はその都度職員が説明するようにしています。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・お子様と保護者様の意向を計画に記載し、ニーズを踏まえた個別支援計画を作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		・個別支援計画の内容を説明する面談を設け、修正点等ないかを保護者様を確認をし同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・6ヶ月に1回程度、定期的に面談を行うと共に、相談したいことがあれば適宜面談を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		・保護者交流会を年2回、親子レクを年1回設定し保護者同士の交流の機会を設けております。	・なかなか参加が難しい保護者様にも参加して頂けるように、保護者様からも意見を頂きながら検討していきたいと思います。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・申し入れがあった際には、電話や面談等を設定し迅速に対応するように努めております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		・月1回の通信の発行を行っています。 ・ホームページ、インスタグラム等でも活動の様子を公開しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・個人情報に記載された書類等は鍵付きの書類棚にて保管しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・言葉以外に視覚からもわかりやすく絵や写真等を使い伝達方法を工夫したり、伝わりやすい方法を保護者様、もしくはお子様に確認しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		・事業所が主催するイベントに地域住民の方を招待する機会を設けることが、出来ませんでした。	・事業所の夏祭りなど近隣の方と交流出来る機会を検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・マニュアルは会議等で確認を行っております。また防災・防犯委員会、感染衛生委員会等で定期的にマニュアルの見直しを行っております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・職員による避難経路の確認や避難手順等利用児と一緒にしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		・契約時に確認を行っています。 また、健康記録等も保護者様に記入頂き必要に応じて聞き取りも行っていきます。 変更があればその都度、確認をしています。	・緊急時に適切に対応できるように、定期的に利用児の既往歴や服薬についての情報を共有していきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・契約時に確認を行っています。 ・判断が難しい食材はその都度、保護者様に確認しながら提供していきます。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・救急対応や不審者訓練等、実践的な研修に積極的に参加しています。また、外部研修にも参加し子ども達の安全を確保するように努めています。	・定期的な訓練や研修に参加し子ども達の安全を確保するように努めていきます。また、定期的に安全計画の見直しも行っていきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・避難訓練等の様子は、毎月発行の通信で保護者様にお知らせしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・危険な事例があった際には、ヒヤリハットに記載し、打ち合わせや会議ので共有、検討していきます。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・外部研修や内部研修に参加し、適切な対応が出来るか会議で振り返りを行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・委員会を設置、もしくは会議で身体拘束の必要性を検討する場を設けております。		